

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	発掘調査の整理・報告書刊行事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	11	02	05
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	発掘調査で得られた情報や遺物	意図	埋蔵文化財発掘調査報告書を刊行・公開し、記録保存及び活用できるようにする。
事業内容	発掘調査で得られた情報や出土遺物について、記録整理、研究分析、報告書作成・刊行を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和50年代に本格化した発掘調査は、昭和60年代以降件数の増加に伴い、現場優先となったことから、整理作業の遅滞が増加し、報告書未刊行となっている遺跡も多い。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	発掘調査報告書刊行数	1	3	1	
②	新たに刊行対象となった発掘調査数	6	4	6	件	→→	
③	発掘調査報告書未刊行数	62	63	65	件	↓↓↓	
④							
指標で表すことができない定性的な成果	発掘調査情報を公開し、活用可能としている。					目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・発掘調査件数急増により刊行対象発掘調査数も増加するため、報告書刊行が間に合わず、未刊行数は増加する一方である。 ・発掘調査担当者と整理・報告書担当者が同じであるため、発掘調査業務が増加すると整理・報告書業務は遅滞する。	
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		40,351,307	50,184,811	50,094,741			
事業費(b)(円)		19,411,807	27,901,811	24,142,881			
うち一般財源		19,411,807	27,901,811	24,142,881			
職員給与費(c)(円)		20,939,500	22,283,000	25,951,860			
人役・職員(人)		0.50	0.70	0.60			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		14.10	14.10	20.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	未刊の発掘調査報告書を計画的に刊行する。	③取組の課題	発掘調査報告書の刊行数を増加させる。
②今年度(H27)に実施した取組	大部な報告書については、編集作業に時間がかかり刊行までに時間がかかった。	④今後の改善計画	埋蔵文化財発掘調査事業との調整を図り、本事業に専従する期間・人を確保する。